

2026年  
(令和8年)

1月発行

No.137

好きなまちでいきいきと暮らし、住み慣れたまちで安心して老いたい

ふくし生協

ひゃくさい

福岡県高齢者福祉生活協同組合

〒810-0801 福岡市博多区中洲 5 丁目 1-22 松月堂ビル 6F  
TEL.092-282-1431 FAX.092-282-1433  
E-mail : honbu@fukushiseikyoku.jp

発行責任者：代表理事 花田 真人

ふくし生協

検索



新年あけましておめでとうございます

(水巻フェスタ にじいろレンジャー登場!!)



## 水巻事業所 20周年フェスタを開催!

11月9日、水巻事業所の立ち上げ20周年を記念して、頃末南公民館とデイサービスにじいろ赤とんぼ前駐車場の二つの会場でフェスタが開催されました。

公民館でのステージでは、ダンス、日本舞踊、三味線のほか、職員による劇「にじいろレンジャー」の昨年に引き続いての登場し、介護制度を守ることが語られました。また、花田専務率いる生協バンドによる演奏で会場は大いに盛り上がりました。

駐車場会場ではキッチンカーやキッズコーナーに多くの来場者が足を運び、大盛況となりました。



二〇二五年度ふくし生協強化月間(二〇二五年十月～十二月)は、多くの組合員さんのご協力をいただきました。心よりお礼を申し上げます。月間内では各事業所において地域との交流を深め

る『地域交流行事』を開催することができた月間となりました。年度末にむけて、地域との関わりをもっと広げ、組合員拡大につなげていきましょう。皆さまのご協力をお願いします。

ふくし生協強化月間

ご協力ありがとうございます

## 事業所の取り組み紹介

## 生協強化月間・事業所フェスタを開催しました!

## 直方事業所

## 福祉まつりへの参加

10月26日に直方市商店街のアーケードにて直方市社会福祉協議会主催の福祉まつりに直方事業所が参加し、フリーマーケットを出店しました。

ブースを訪れた方へ加入案内や署名活動への呼びかけをおこなった結果、2名の組合員加入をいただくことができました。



## 福津事業所

## 事業所フェスタ

11月15日、宅老所第2たんぼぼで事業所フェスタを開催しました。デイ室内では大正琴の披露やマジックショー、職員によるギター演奏が行われ、利用者の皆さんも大いに楽しみました。

デイサービスの駐車場で快晴にも恵まれ、来場者の皆さんは職員が作ったぜんざいや炭火焼を堪能しました。



## 東事業所

## 家族会・鉄板焼きパーティー

11月16日、東事業所・宅老所第2もやいの家にて、利用者さんとご家族を招き、鉄板焼きパーティーが開催されました。職員お手製のたこ焼き、焼きそば、鉄板焼きが振舞われ、利用者さんは参加されたご家族の方と一緒に召し上がられていました。ご帰宅の前には中庭に設置されたヨーヨー釣りを楽しみ、大盛況となりました。



## 嘉飯事業所

## カラオケ&amp;三味線演奏

12月5日、デイサービスにぎわい荘にてカラオケと地域の方を招いての三味線演奏が披露されました。懐かしの名曲と華麗な三味線の二重奏が披露されると利用者たちと来場いただいた地域の方も大盛り上がりでした。また、披露の合間には26年3月で百歳を迎えられる利用者さんへ石破元総理と服部県知事からのお祝いの表彰状が手渡され、利用者さんは嬉しそうにはにかんでおられました。



## 水巻事業所 夢ひろば餅つき大会

12月6日、昨年に引き続きデイサービス夢ひろばにて餅つき大会を開催しました。天候にも恵まれ、晴れ間の中デイサービス前の駐車場で軽快に餅をつく様子に、地域の方や、昨年も来所された近隣の児童施設の皆さんが集まり、餅つき体験やふるまわれたきな粉餅やぜんざいを美味しく召し上がられていました。



## 理事会からのお知らせ

## 2025年11月理事会決定事項および報告事項

## 【理事会審議・決定事項】

## 第1号議案 新任常務理事の役員報酬額決定の件

新任の常務理事報酬について代表理事から理事会に対し提案があり、審議の結果、提案通り役員報酬額を決議いたしました。

なお、2026年度以降の理事報酬の整備について検討することを確認されました。

## 第2号議案 長期借入(福祉医療機構物価高騰支援融資)実行の件

福祉医療機構の福祉貸付事業として「物価高騰の影響を受けた施設等に対する経営資金又は長期運転資金」を活用し、借入金額5,000万円、2年間の借入をおこなうことを決定いたしました。

## 第3号議案 2026年度予算編成方針決定の件

2026年度は「経営改善計画」の2年目であり、3年間の経営改善を確実に進めるための重要な年度です。次年度の到達を作るための予算作成の基本方針を定めました。

## 【協議事項】

## 2026年度の予算達成に向けて

2026年度の事業活動を進めるための課題が提起されました。全職員が具体的な取り組み内容を理解し事業活動を進めるため、引き続き協議をおこなっていきます。

## 【報告事項】

理事会では以下の報告をおこないました。

- ・定例報告 法人報告、組織運動分野、事業経営分野、管理運営分野
- ・会議等議事録報告
- ・人事異動について
- ・2025年度上期監事監査報告
- ・不動産売却の状況
- ・金融機関との協議
- ・係争事案の進捗状況
- ・2025年10月度決算報告および11月度稼働状況
- ・生協強化月間のとりくみ状況と課題について
- ・その他の報告事項(互助会月次報告)

## みなし自由脱退に関する公告

2023年1月1日から同年12月31日までで現在所在不明となっている組合員の方は現在全県で58名となっています。2023年度所在不明者に関して2026年2月末までにお申し出のない方は、定款第10条第2項以下および細則11号『長期所在不明組合員の脱退手続きに関する細則』に基づき「みなし自由脱退」処理を行います。

## 1. みなし自由脱退対象組合員の公示

みなし自由脱退対象者リストにより各事業所の対象者を公示します。

## 公示期間

2026年(令和8年)1月1日から2026年(令和8年)2月28日まで

2. 公示期間中に申出があった場合はみなし脱退対象組合員から除外します。

期間中までに申出がない場合は2026年(令和8年)3月31日をもって脱退手続きを行います

3. お預かりしている出資金は預かり金とします。

手続き後2年以内にお申し出があった場合、脱退処理を取り消します。

以上、上記の通り公示と致します。

福岡県高齢者福祉生活協同組合  
理事長 菅野 美和子

※対象者リストは対象の事業所において公示されます。  
お問い合わせはふくし生協本部事務局まで

## ともに繋がる・働く仲間づくりをすすめましょう！

生協の経営基盤である組合員出資金は、事業所運転資金や将来の設備投資の一部を賄う資金として活用しています。

出資金は事業の継続を安定して進めるためには是非とも必要であり、残る期間(2026年3月末)までに残目標3,000万円の積み上げを達成したいと考えています。

年度末まで、みなさまのお力をお貸しください。組合員の加入の案内、出資金増資へのご協力をよろしくお願いいたします。

## 組合員数

11月末	組合員数	5118人
10月	新規加入者	29名
11月	新規加入者	14名

## 出資金額

11月末出資金総額 4億443万5,339円



## 水巻事業所長 藤田真弓さんに聞く 20周年を迎えて(インタビュー)

▼ふくし生協にかかわるようになってきたきっかけを教えてください。

平和の取り組み・署名活動などでごいっしょしていたSさんから声をかけていただきました。介護事業所をいっしょに立ちあげようと。水巻事業所の準備段階から関わったので、もう23年になります。

▼それまで介護の仕事をされていたのですか？

介護は未経験でした。医療関係の職場にいたので、雰囲気はだいたいわかっていました。介護事業所にかかわるので、当時のヘルパー講座3級を受講し、新しい仕事に備えました。

▼これまでの20年間で、一番大変だったことは？

やはりコロナです。コロナの初期のころは、まだコロナがどんなものかわからず、著名人の死亡などが伝えられると、不安になりました。利用者さんが感染して、私自身も感染して、家にも帰れず、閉じこもる生活に、これからどうなるのだろうかとか不安でいっぱいでした。利用者さ

んの状態が悪くて救急車を呼んでも来てくれない、やっと来てくれても、受け入れ先の病院がみつからないこともありました。コロナのときの不安が今もはつきりと残っています。

▼仕事をしていてうれしく思うことは何ですか？

利用者さんに「ありがとう」と言っていたときが、一番うれしいです。昨日いろいろあつても翌朝、元気に笑顔で朝食をとっている利用者さんを見ると、うれしくなります。「毎日元気」が一番です。

▼職員の成長をどのように感じていますか？

利用者さんへの接し方が深くなってきたと思います。利用者さんに接するということは、その人の人生にかかわることなんです。その人の人生を見て、声掛けをしていると思います。

▼職員に伝えたいことは？

何かあつても投げ出さない、学びながら取り組んで、根を上げない、愚痴は言いあって解消する、そんなふうにして年月を重ねてきました。

迷ったらどう乗り越えていくかわですが、ダメなことはダメと言います。私はこうするなどの話はしますが、自分で考えて、間違っていないこと、正しいことをしていってほしいです。

▼失敗したときは？

失敗もしています。仕事をたくさんする人は、それだけ失敗の数も多いと思います。失敗もするけれど、よくよするのではなく、おおらかに考えていくことも大切だと思います。

▼生協運動とはなんでしょう？

20周年の舞台でも「にじいろレングジャーショー」をしましたが、介護について問題意識をもつてほしいという思いで構成しました。平和でなければ、介護の仕事もできません。運動を続けることにより、介護への政策を国に求めていくことができます。

▼ふくし生協の良さは？

職員が意見を出せるところです。水巻事業所も、職員が意見を出して、今のようにな形に広がってきました。一般の会社だとトップダウンでしょう。そうではなく、職員が意見を出して事業所を作っていけるところがいいところだと思います。

きびしいこともあります。高年齢者がいつまでも働ける職場であつてほしいと思います。

▼藤田さんの毎日の生活はいかがですか

今は仕事中心です。

▼これから先、時間があればどのようなことをしたいですか。

ひとり映画やお芝居を見に行く、旅行など、いいですね。実は、J Rの時刻表を見るのが好きだったんです。

▼水巻事業所の未来をどのように描いていますか？

私は「赤とんぼビル」を建てたいと思っています。デイサービスやすまい、そして、みんなが集まれるカフェなどもあつて、地域のよりどころになるような場所(ビル)を作ることが夢です。

.....  
藤田さん、ありがとうございます。

話をお聞きして、「赤とんぼビル」とは、介護が必要な方、住まいが必要な方、居場所の必要な子どもたち、子育て中のおかあさん、介護に悩む家族の方など、地域のいろいろな方が集まれる、安心できる砦を作りたいという願いだなと感じました。何年後かに、ふくし生協が大きく伸びて、赤とんぼビルが実現するといいですね。(聞き手：菅野美和子)



## 職員リレーエッセイ



直方訪問介護ゆめはうす  
サービス提供責任者

斉藤 豊香

皆様はじめまして。直方事業所訪問介護ゆめはうすサービス提供責任者 斉藤豊香です。

介護の仕事はふくし生協が初めてです。平成19年(2007年)年にふくし生協に入りました。

初めは、デイサービスなつみねの職員として働いていましたが、いつの間にかヘルパーになり、サ責になり、10年以上が過ぎました。

初めてヘルパー同行した時、何もわからない私に一つ一つ優しく教えてくれたヘルパーさん、調理が苦手でも心配して見守り続けてくれたヘルパーさん、お昼休憩の時に

おかずを作ってくれてくれた作り方を教えてくれた元管理者さん、おいしい所にご飯を食べに連れて行ってってくれ、相談のってくれる田代さん。色々な人のおかげで少しずつですがヘルパーとして成長することができました。

苦手な調理支援も頑張っています。『美味しかったー』と言われると一番うれしいです。



一番印象的だった利用者さんがいます。〃土鍋でご飯を炊いて〃と言われる方がいました。土鍋など全く使った事がなくとても不安で仕方ありませんでした。同行したヘルパーに何度も水加減、火加減を見てもらい無事に炊く事ができました。

土鍋で炊き上がったご飯はとてもおいしそうで：土鍋買ってみようかなーと思うようになりました。すると、ヘルパーさんが土鍋を私にプレゼントしてくれました。今でも大切に使用していて土鍋でご飯を炊いて食べることが楽しみになっています。

大変な事もあり、ヘルパー続けられるかなーと思うこともありましたが、自分の役に立つ事、学ぶ事も多くあり、続けることができてよかったと思っています。

ゆめはうすは現在10人以上のヘルパーで運営しています。私よりも長くゆめはうすで働いているヘルパーさんもいて、みんな仲良く働きやすいです。少しでもヘルパーの仕事をしてたい方がいたらぜひ声をかけて下さい。



## もっと知ってほしい「文庫の主人公」

その10

ある車いす薬学者の半生

## 翼折れ 爪はがされても

高野哲夫 著

## スモン患者支援

## はじめて知った「薬害の構図」

著者を知ったのは、50年ほど前に出会った薬害スモン被害者の支援要請に、福岡市職労が当時専

従執行委員だった私を「スモン患者を守る会」に派遣したのが始まりでした。被害の実態を何も知ら

なかった私たち支援メンバーはスモン患者の家庭訪問と薬害について学習を始めました。

その時、テキストにしたのが高野氏の「くすりと私たち―現代日本の薬害」でした。支援者メンバーで少しずつ読み合わせするだけでは

すが、薬害を引き起こすメカニズムを知り、あまりのショックを覚えたのを鮮明にいまでも思い出します。氏の著書「薬学概論」「裁かれ

る製薬企業」「薬害スモン」「日本の薬害」「スモン被害」「障害原論」「戦争と障害者―ベトナムからの

証言」「誰のための薬か―社会薬学序説―」などが薬害根絶運動の教科書として私たちをどれほど鍛えてくれたか図り知れません。

自分なら被害者の痛みをわが痛みとして

「カリエスによる下半身まひで車いす生活者となりながらも、サリドマイドやスモンなどの薬害問題と取り組み『社会薬学』という新しい学問分野を切り拓いた著者が、死を目前にした病床で書き下ろした自らの波乱の生涯」と紹介され、高野氏自身が「私の生きざまを示すことによつて、民衆のための学問はどのように形成され、それはどんなものかということを示し、若い研究者、技術者へのメッセージに、また、人は何のために生き、何ができるのかということ、戦後民主主義の体現者である私の時代からの証言として語り継ぎたい。」とまねがきで述べています。

い。…」とまねがきで述べています。

何よりもともに闘った同志でもあつた恵美子夫人は「どんな状況になつても生をあきらめない、彼がいたからこそできたと思われる組合結成、スキー運動、技術者・研究者の運動、サリドマイドやスモンをなくす運動などへの参加で私に自主性を引き出してくれた」と語られます。本の中の見出し「二人はみんなのために、みんなは一人のために」は氏の生き方のすべてを語っています。

被害者の目線で

ともに運動に参加

私が参加させてもらった薬害スモン闘争で、福岡県スモンの会事務局長原田澄子さんの「壊れたこの身が役に立つという薬害訴え今日も街ゆく」の短歌とその実践が、どれほど全国の被害者や支援者を励ましと確信を持たせたか、私は「組合役員を辞めたので支援もできません」とだけは言わないと固く決意したものです。

福岡スモン裁判の地裁判決は1978年11月14日、証言に立つだけでなく共に闘ってきた高野氏

も法廷にいて、正に画期的な判決を引き出します。判決は原田さんの短歌を丸ごと引用し、薬害根絶は全国民的課題だと明言します。氏は「裁判所に入ると。職員の対応もよく、傍聴席も広い。裁判長がにこやかに笑みをたたえながら入廷する」とこの書で述べ、福岡での運動を的確に感じとられていたのです。(私は玄関前で集会の進行をしていました)

著名ではないが

真の民衆のための科学を追求

研究と運動の集大成「戦後薬害問題の研究(博士論文)」のあとがきでは「スモン被害者や弁護士と共にする中で、被害者と同じ地平に立ち、被害者とともに構築した民衆のための科学として有効性が検証されたことに大きな喜びを感じた」と述べている。

決して著名ではなかったけれど、氏に真の学問研究の在り方をみます。氏はこの書をまとめ85年3月に50歳で逝去されます。私はスモン闘争の中で大きな教えを受けたのでした。

(目下部恭久 東区香椎在住)



## 知恵の輪くコラム

## 年金額を増やす方法

Q 65歳の男性です。65歳で退職する予定でしたが、65歳からの年金額を知って考え込んでいます。年金だけでは生活できません。年金額を増やす方法はないでしょうか。

A 年金だけでは暮らしていけない、少しでも年金を増やす方法はないものかというご質問をよくだきます。年金額を大幅に増やす魔法の方法はありませんが、何も方法がないわけでもありません。

老齢厚生年金額の決め手は2つあります。ひとつは給料やボーナスです。上限はありますが、給料やボーナスが多いほど年金額も多くなる仕組みです。20万円の給料の人よりも30万円の給料の人のほうが、将来の年金額は多くなります。しかし、給料やボーナスは勤務先が決めるので、思うようにはなりません。

もうひとつの年金額の決め手は、厚生年金加入期間です。厚生年金加入期間を延ばす、つまり長く働くということで、年金額は増えます。厚生年金には最長70歳ま

で加入できます。継続して働けるなら、厚生年金に加入できる条件で70歳まで働くと、年金額も増えます。65歳から70歳までの間は、毎年9月1日を基準日にしてそれまでの加入期間を年金額に追加するので、毎年、年金額が増えていくことを実感できます。

厚生年金に加入していない60歳以降の人で、過去に国民年金の未納期間がある人は原則60歳から65歳になるまでの間に、希望して国民年金に加入できます。たとえば、2年間の未納期間がある場合、60歳から62歳になるまでの2年間、国民年金に加入すれば、満額の年金につながります。もちろん保険料という支出はありますが、老齢基礎年金は増え、長生きすれば効果も大きくなります。

地道に働くこと、保険料を支払うことが年金増につながります。「なんだ、あたりまえのことか」と思われたかもしれませんが、特効薬はないということです。

もちろん、年金制度が「改正」されれば年金生活者の暮らしはよくなると思います。安心して暮らしていける制度が必要です。

(理事長 社会保険労務士

菅野美和子)

## ラーメン探訪記

博多区綱場町・『やひろ屋』さんの鶏そば

(地下鉄空港線「中洲川端駅」7番出口から徒歩約3分)

豚骨ラーメンがひしめく博多の中で、キラリと輝く黄金の鳥白湯スープが決め手のラーメンを提供している『やひろ屋』さん。

しつとりですがジューシーな鳥ももの叉焼が絶品の一杯です。

筆者もふくし生協本部から近いこのお店に足繁く通っています。

(本部・世利)



## ●名著・好著紹介

岐部博之(直方市在住)

2025年1月に67歳で死去した森永卓郎氏が、晩年に執筆出版した一連の著作は、これまでのタブーに触れたことで、世間に波紋を広げている。その6冊を紹介しよう。出版社はいずれも三五館シンシヤ(中野長武社長)。

「ザイム真理教」(2023年5月発行)

「書いてはいけない」(2024年2月発行)

「がん闘病日記」(同年6月発行)

「投資依存症」(同年9月発行)

「官僚生態図鑑」(同年11月発行)

「保身の経済学」(2025年4月発行・遺作)

東京大学卒業後、日本専売公社(現J-T)に就職した森永氏は、大蔵省(現財務省)に出入りすることが多く、世間あまり知られていない大蔵省の実態を知るようになる。後年、経済企画庁へ出向。独立して経済アナリストや大学教授としてテレビ出演などお茶の間にも人気の一人だったが、これまで他人が触れてこなかった数々の真実を語るにつれて、テレビ出演の機会を失う。

官庁の頂点に立つ財務省は、国の予算を握る一方で、傘下の国税庁を通じて徴税や税務調査という大きな権限を以って各所ににらみを利かす存在だ。その真の姿を綴った原稿を、大手の出版社数社に持ち込むが、いずれも断られ、一度のメールのやり取りだけで面識のない無名の出版社である「三五館シンシヤ」の中野社長に原稿を預ける。中野氏は二読して即座に刊行を決意。それから2年の間に6冊の著書を世に送り出した。当初は世間に見向きもされなかった著書は、今では書店に平積みされている。

世の中で通用している「常識」を安易に信じることなく、自分で調べた上で納得して行動することの大切さを、森永氏の著書は教えてくれる。

## ●国会請願署名の取り組みにご協力をいただきありがとうございます！

前号お知らせしました「介護保険制度の抜本改善、介護従事者の処遇改善を求める請願署名」は大きな反響をいただき、一次集約の終了までに1406筆(目標比42.2%)の署名協力をいただきました。誠にありがとうございます。

今後通常国会への提出に向けて、二次集約を募集いたします。受付締め切りは2026年2月末までとしております。署名用紙など、詳しくは本部または最寄りの事業所へお問い合わせください。

## わたしのサークル活動

## 『北九州映画

## サークル協議会』

私が入ってる北九州映画サークル協議会を紹介します。映サは、映画好きによる、映画好きの為のサークルで、今年創立72年の歴史を持つ日本でも古参のサークルです。

皆さんそうでしょうが、映画を観る時、好きな俳優や監督の作品や好きなジャンルの作品を選ぶんじゃないかな？映サは、会費が月1、100円で、毎月1回の例会作品が観られます。作品はアンケートや代表者会議で決まる為、余計な？先入観や過大な期待も無く(笑)観れるので！本当に新鮮な感動に出会うことが出来ます。

また毎月配布される機関紙・泉には会員の一口感想が載るので、自分とは違う見方を知る楽しみも有ります。是非、皆さんも！この楽しみを分かち合いましょう。

北九州市在住 加藤 昌隆



## 能登地方(石川県輪島市・珠洲市)の現状 ～現地の生協組織の役割～

ふくし生協も加盟する福岡県生活協同組合連合会では、石川県・能登地方を襲った2024年1月1日の大地震、同年9月21日からの豪雨水害の被害と復興状況を把握するため、11月24～25日に役員9名が現地を訪問し、ふくし生協からは私が参加しました。

大地震から約2年が経過しましたが、これまでに震度5以上の地震が18回、震度1以上は1651回を数え(2025年10月末現在)、現地では現在も頻繁に地震が発生しています。現地入りした日、私のスマホの地震速報は2回鳴りました。

訪問したのは県北の輪島市と珠洲市で、県内でも最も被害が大きかった地域です。輪島市は朝市が有名ですが、これまでの場所は復旧が進まず、業者の方はディスカウントストアの中の約半分を使って「出張朝市」で生計を立てています。『「もう終わりだ」と思ったけど、みんなに助けられてねー』と笑顔で語っていただいたことが心に残ります。



写真① 輪島市の住宅街

今回の災害で241人の方が亡くられました。地震による圧死か、逃げられず溺死したのか、今でもよくわかっていないそうです。地震と津波による住宅家屋被害は全壊7700棟、半壊9500棟で、住宅街は現在も3軒に1軒は更地のまま(写真①)で、港は津波が押し寄せた状態のまま(写真②)、復興が進んでいません。県内の6割超が液状化(揺れにより地盤が柔らかくなる)現象で、今後も数十年に渡って建物を建てることができない

地域も多いとのことでした。



写真② 珠洲市の港  
震災当時の流木が未だに残っている(写真中央)

このような極めて大変な状況の中、現地の生協が大きな役割を果たしていました。想定を大きく超える災害が突然発生した中で災害対策本部を立ち上げ、職員・家族・組合員の安否確認を最優先に、「たすけあい」「つながり」の組織としてリーダーシップを発揮して行政や社会保障協議会と連携して、発生から1年間は全国からの応援を受け、息の長いとりくみを展開し、支援物資と義援金を有効に生かすとりくみが今でも行われています。国や行政では手が届かないところを市民団体や生協が支えることで、少しずつ、確実に復興が進められようとしています。



写真③ 珠洲市の観光名所「見附島」の現在

災害の規模は年々拡大しています。福岡でもいつ、どのような災害が発生するかわかりません。このような事態に備え、できる限りの準備をおこなっておくことが、「たすけあい」の組織である生協の役割だと実感した2日間でした。

(専務理事 花田真人)

## 読者の声

(敬称略)

▼ちよつぱり早い年賀状、ことしもいろいろな馬をかきました。

子どもの頃、叔父と一緒に競馬を見に行っていましたので馬が今でも大好きです。

180枚出します。馬の目に恋しています。ぞくぞくとするような

(遠賀郡水巻町・江上 淑子)

▼事業所案内でぬくもり事業所(粕屋町)が紹介されていてとてもなつかしかったです。13年前ホームヘルパー養成研修2級課程を修了し少しの間ここで働いた事があります。

(粕屋町・合屋 美智子)

▼数十年前の話。父の実家で年末のもちつき大会があり、近所の方々の参加もあり、大盛り上がり。「この人数なら田植えもできそうだな」と、父の一言が忘れられません。

昔は町内皆で協力してたのでしよう。心あたたまる思い出の一つです。

(福岡市東区・池口 悦子)

▼「住み慣れたまちで安心して老いたい」みんなが望むスローガンです。

事業所の皆様のガンバリにとっても期待します。

(糸島市福吉・東 英美子)

▼久々のクロスワード挑戦でしたが、年末年始関連のお題でもう年末もすぐにそこだなと思いがから楽しませてもらいました。

(北九州市八幡西区・ペンネーム赤多オル)

▼職員リレーエッセイより、ひまわりの庭で梅や野菜が採れる環境、素敵だと思います。

来年は梅干しが、成功するといいですね！

(匿名希望)

▼「おもちつき」子どもの頃は祖父母宅に大勢で集まってワイワイにぎやかに行っていました。今では保育園の行事で少し参加する程度です。

(北九州市八幡東区・河上 由布子)

▼「ゆいサポート」住みなれた地域で暮らし続けるために大切な活動だともいいます。

(佐賀市・峯村 光郎)

▼署名用紙を送るついでに久しぶりに「クロスワードパズル」に応募します。

8Pの「経済情勢と介護情勢」を読み、以前から心配していた事が現実になりつつあると思いました。本当にこのままでは介護保険制度が崩壊する恐れがあります。

幸いまだ介護保険は使っていませんが、必要になった時にサービスが使えないという事になりかねません。

大切な事ですから、メ切の来年2月まで署名を集めます。私たちの声が政府に届くことを願っています。

(水巻町・村田 和子)

▼経済情勢と介護情勢の記事を見るまでもなく、物価は上がり、年金は据え置き状態で、暮らしは厳しくなるばかりです。

右肩上がりなど望むべくもありませんが、高齢者、弱者の暮らしにくさは増すばかり。こんな時代だからこそふくし生協に頑張つて欲しいと思っています。

(宗像市 ペンネームヒロちゃん)

▼御世話になりました。来年も又よろしく願います。

(水巻町・山下 俊次)

▼年があけました。今年も健康に留意して元気で働ける事が目標です。

夫も25年前に亡くなり身内の介護の心配がないので他人様の介護を仕事としています。

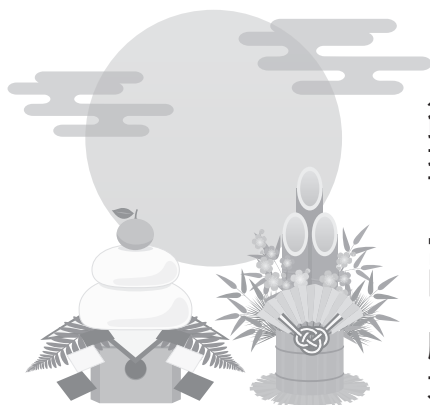
仕事は大好きなので苦にはありません。利用者様の笑顔で私も元気をもらいます。

この一年何事も起きないようそして世界に平和がおとずれる事を願っています。

(北九州市八幡西区・板山 二子)

▼クロスワードパズルの所が広くなったので見やすくなりました。とても読みやすいです。

(飯塚市・富田 順子)



クロスワードパズル

86

今年が良い年になりますように  
(ヒント)

1	2	3	4			5
	6				7	
8				9		
				10		11
12	13		14			
15					16	
17			18			

▼タテ、ヨコの《カギ》に従ってマス目に言葉を入  
てください。ただし、右下隅に☆のあるマスには漢  
字が入ります。タテ、ヨコで漢字の読みは違ってい  
ます。すべてのマスを埋め終わったら、二重マスの中  
の文字を並べ替えて、(ヒント)にふさわしい言葉を  
作ってください。それが答えです。

《タテのカギ》

- 2 堂々として厳かなこと。ゝを保つ
- 3 ゝを滅却すれば火もまた涼し
- 4 人や貨物を運ぶこと
- 5 平和の象徴とされる鳥
- 7 人が持っているべき思慮に欠けること
- 8 新年、消防士がそろって行います
- 9 人との付き合い。ゝが絶える
- 11 物事を判断するときの
- 基準になる考え方
- 13 お正月、大小2個のお供え
- 14 苦労せずに利益を得る、ゝで粟

《ヨコのカギ》

- 1 年賀のあいさつとして書く言葉
- 6 水素はH、酸素はO、ゝ記号
- 7 ゝのふり見てわがふり直せ
- 8 古くからの歴史を持ち、
- 現在も続けられている儀式
- 10 英語で「PERMISSION」
- 12 視力を矯正するためにかけます
- 14 事前に知らせず出し抜けに行うこと。
- ゝテスト
- 15 冬の朝、地表の水蒸気が凍り、
- そのため草木が生氣を失うこと
- 16 奈良の春日大社では神の使い
- おみくじ、大ならいいな
- 18 コンクリートの強さを補うために
- 埋め込みます

前回の答 (No.85)

1	ナ	チ	2	ユ	3	ラ	リ	4	ス	5	ト
	ベ		6	ウ	ス		7	イ		キ	
		8	シ	ゴ	ト	9	納	メ			
10	羽		モ	ウ		11	ゼ	ン	12	ブ	
13	ゴ	テ		14	フ	イ		16	コ	ン	ラ
	イ		15	オ	リ		16	コ	ン		
17	タ	イ	ト	ル	マ	ツ	チ				

(オモチツキ)

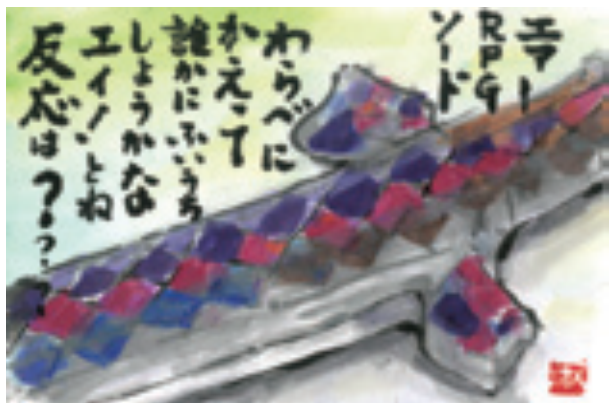
■前回の答えは「お餅つき」でした。

■厳正な抽選の結果、左記10名に  
QUOカード5000円券をお送り  
いたしました。

- 匿名希望様 (福岡市早良区)
- 匿名希望様 (北九州市八幡東区)
- やみやま様 (福岡市南区)
- 江上 淑子様 (遠賀郡水巻町)
- 小家野 勇様 (北九州市八幡東区)
- 甲斐田 稔様 (飯塚市勢田)
- 赤タオル様 (北九州市八幡西区)
- 匿名希望様 (北九州市八幡西区)
- 安永 光恵様 (飯塚市勢田)
- 峯村 光郎様 (佐賀市鍋島)

◎完成した言葉と「ひゃくさい」の感想  
などをはがきに書いて、「ふくし生協・  
広報委員会クロスワードパズル係」ま  
で2月10日必着。また、ホームページよ  
りのご回答も可能です。





▼▲江上淑子(水巻町)

川柳 匿名  
ダンボール  
子どもの目には

宝物

投稿俳句と短歌



ご投稿ありがとうございます。



▲ほのぼの消しゴム版画作品(版:加治美千代 字:鶴田輝子)

昨年10月から12月まで、生協強化月間に取り組みました。各事業所ともフェスタ等を通して仲間を増やす取り組みを進めて参りましたが、まだまだ思う様に拡がりをみせられませんでした。引き続き今年も新しい組合員さんを仲間としてお迎えするために頑張りますので応援よろしくお願いします。

### 編集後記



2025年10月31日に100歳を迎えられました田崎さんのお誕生会を開催しました。同会では石破元総理からの賞状も送られ、素敵な笑顔を見せていただきました。

田崎節子さん(100歳)